

第172回親和会 講演会・総会・懇親会報告

名古屋大学 教授 水口 将輝 (1998年応用化学卒)
ソニーピープルソリューションズ 高木 芳徳 (1998年化学システム卒)

2023年10月21日(土)、第172回親和会総会・懇親会が東京大学本郷キャンパス山上会館において開催されました。今年は2019年依頼の現地・対面開催であり、4年ぶりに多くの会員の皆様にご参集くださいました。

総会の前に、著名な卒業生にご講演いただくという企画で、東京大学先端科学技術研究センターシニアリサーチフェローの平尾雅彦先生(元:化学システム工学専攻教授)にご講演いただきました。平尾先生は、LCA(サイクルアセスメント)の第一人者の研究者として知られており、2023年4月に東京大学内に未来戦略LCA連携研



講演会の様子

究機構(UTLCA)の発足に尽力されました。講演では、持続可能な未来を目指す技術革新や社会実装に焦点を当て、特にUTLCAの設立とその目的について解説いただき、最新の取り組みである「先制的LCA」について講義いただきました。なかでも、LCAがどのように化学工学の分野で進展してきたかを概観し、そのプロセスでの物質変換やエネルギー収支の理解の重要性についてご説明いただきました。また、環境への影響を減らすための循環型社会への移行の重要性、特にリニアエコノミーからサーキュラーエコノミーへの移行を目指す観点から、プラスチックやその他の資源の使用について言及されました。「エコバッグは使ってナンボ、持っているだけでは、かえって地球に負担がかかる」というお話は、大変実感できる内容でした。さらに、最新の取り組みである「先制的LCA」に焦点を当て、将来を見据えた環境影響の総合的な評価と、その取り組みの具体例を紹介されました。伝統的なLCAが「現在」の枠組みでの分析にとどまっている中、先制的LCAは将来社会へのバックキャストと現在の意思決定を繋げる点に特徴があるとのことご説明がなされました。最後に、UTLCAが目指す活動として、多様な分野の研究者の協力を通じた技術イノベーションの推進、次世代人材の育成、さらにグローバルな視点からの課題解決が重要であることが紹介されました。われわれ親和会のメンバー自身も、これらの観点からできる活動を進めていくことが必要であると感じさせられるご講演となりました。

総会は事務局長の杉山弘先生の司会のもと、進められました。森川会長から開会のご挨拶を頂いたのち、事務局の堀雅文氏による2022年度の事業報告・決算の報告および2023年度の事業計画・予算案の説明がなされ、審議の結果、満場一致で承認されました。続いて同じく杉山先生の司会の

親
和
会
会
報

向坊隆喜

52号
2024. 5



もと、懇親会が開始されました。乾杯の後に、津本浩平先生から化学生命系3学科の近況報告が行われました。工学部5号館の改修工事の完了や、社会連携講座の設置の流れについての報告がありました。また、2018年、2019年と低迷していた学科の志望倍率が2020年以降、どの3学科も上り調子であるという喜ばしい報告がなされました。続いて、尾嶋正治先生より、第7回親和会ゴルフ大会の結果報告がなされました。こちら4年ぶりに昭和の森ゴルフコースにて開催され、石井浩氏が見事に優勝し、親和会会長杯が授与されたことが報告されました。堀雅文氏によるOBOG懇談会の予定についてご紹介がなされた後、2008年卒学年の企画・運営による恒例のアトラクションが開催されました。本年度は、太田誠一先生の司会により「細かすぎて伝わらない化学クイズ」が行われました。問題の難易度がみごとに調整されており、若手からベテランまでが心から楽しめる企画でした。第1問のシクロヘプタンの角度についてのクイズから、第5問のシリカ粒子の電子顕微鏡写真の中に隠された杉山先生の顔写真を探し出すという超難問(?)クイズまでで勝敗が決められ、最後はジャンケン大会により順位が決められました。

優勝者には東大の特製泡盛「御酒(うさき)」が授与されたのをはじめ、他の入賞者にも豪華な東大グッズが授与され、みなさま楽しまれた様子でした。最後に、新しく化学生命系3学科に着任された先生方の自己紹介と、今年度の運営幹事の紹介、次期幹事(1999年卒学年、2009年卒学年)のご挨拶があり、大久保達也副会長の閉会のご挨拶と一本締めでお開きとなりました。

4年ぶりに現地・対面開催された今回の親和会では、コロナ禍による空白の4年間を十分に埋めることができるような、懐かしくも新鮮な時間を過ごすことができ、あらためて本会の意義や伝統を感じられる会となりました。今回の運営幹事は、1998年卒学年が務めさせていただきました。今後も、親和会への、皆様からの温かい御支援・御協力を賜れますと幸いです。



森川会長のご挨拶



懇親会の様子



集合写真

第7回 親和会会長杯ゴルフ大会報告



2023年9月3日（日）、昭島市の昭和の森ゴルフコースにおいて標記ゴルフ大会を開催しました。前回は2019年の開催でしたが、新型コロナの蔓延でこの3年間、中止せざるを得ない状況が続きました。しかし、5月に新型コロナが五類になったことをきっかけに森川宏平会長（S57年卒）の強い意向を受けて4年ぶりに第7回を開催しました。幹事は前回優勝・BBの大島昭三さん（S44年卒）と酒井裕一さん（S54年卒）が務められました。思わぬケガ（肋骨、腰、膝関節など）や発熱（インフル？）でキャンセルが続出しましたが、何とか無事に開催することが出来、ゴルフ好きの川崎雅司さん（S59年卒：現物理工学科教授）は「今回の開催決定は大英断です」と喜んでおられました。森川会長の豪快な始球式に続いて4組でスタートしました。

優勝はS41年卒80歳の石井浩さん（gross 93、net 70.6）でした。なお、ベストグロス賞はS36年卒85歳の楠茂さんで、スコア82のエイジシュート達成、という大変おめでたい現場に立ち会うことが出来ました。今回は、高齢のメンバーが頑張っており、「若いもんがだらしない？」と叱咤激励されているようでしたので、次回は是非、多くの若手に参加して頂き、優勝を目指してもらいたいと思っています。次回の幹事は優勝の石井氏とBBの伊藤氏（S41年卒）で、2024年5月ごろに千葉方面で開催したいと考えています。

文責：尾嶋正治（S47年卒、親和会監事）



年会費納入のお願い

2024年度会費 2,000円

親和会は皆様の年会費で運営しています。年会費のお支払いを御願います。

○郵便局から振込の場合 ゆうちょ銀行振替口座番号：00160-2-29506

○民間銀行からゆうちょ銀行への振込の場合

振替用口座番号：〇一九（ゼロイチキュウ）店

当座：0029506 加入者名：親和会年会費係（シンワカイネンカイヒカカリ）

○クレジット払いの場合

親和会ホームページのWEB会員管理システムからログインし、「会費納付の確認」に入りお支払いください。パスワードがご不明な場合は、事務局までご連絡ください。

2023年度 親和会OBOG懇談会報告

2023年度もOBOGによる企業懇談会が工学部5号館で以下のとおり開催されました。51番教室で各社10分間のプレゼンを行った後、各ブースに分かれて学生と個別に面談を行いました。

12月5日 JSR、住友電工、旭化成、日本触媒、みずほリサーチ&テクノロジーズ、ENEOS、三菱ケミカル

12月8日 UBE、IHI、花王、東レ、デンカ、日立製作所、パナソニックエナジー（オンライン参加）

12月15日 日鉄ケミカル&マテリアル、レゾナック、中外製薬、AGC、ブリヂストン、日本製鉄、日本ガイシ（オンライン参加）

総会議決決算・予算

2022年度決算

収入	繰り越し金	3,034,973
	年会費(1285名)	2,570,000
	名簿販売	4,000
	利子	21
	合計	5,608,994
支出	会報48号印刷・発送	902,111
	会報49号印刷・発送	336,507
	会員システム利用料	508,200
	総会費	99,308
	年会費手数料	228,767
	事務委託費	800,000
	雑費	4,748
	合計	2,879,641
	繰り越し金	2,729,353

2023年度予算

収入	繰り越し金	2,729,353
	年会費(1300名)	2,600,000
	総会参加費	500,000
	利子	20
	合計	5,829,373
支出	会報50号印刷・発送	800,000
	会報51号印刷・発送	350,000
	総会開催費	500,000
	会員システム利用料	500,000
	手数料	250,000
	事務委託費	800,000
	雑費	10,000
	合計	3,210,000
	繰り越し金	2,619,373

親和会事務所

〒113-8656

東京都文京区本郷7-3-1

東京大学工学部5号館

電話&FAX 03-5841-7400

E-mail: shinna@chem.t.u-tokyo.ac.jp

事務局: 堀 雅文

編集後記

親和会の活動については下記ホームページでご覧いただけますので、是非、ご確認ください。⇒ <http://shinnakai.com/>

